



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



運動会延期の朝に阿賀っ子に伝えたこと

運動会延期の朝に阿賀っ子に伝えたことは次のとおりです（リモートによる）。

みなさんは今日どんな気持ちで学校に来たのでしょうか？
そんなことを考えていると、みなさんに声をかけずにはいられない気持ちになりました。
生きていくということは、自分の思いどおりにならないことの連続です。今日、運動会が延期になったこともそうです。そんなときにしなければならないこと。わたしは2つあると思うんです。

1つ目は、決してだれかのせいにしないこと。だれかのせいにしないどころか、相手のことを思われる自分であること。コロナにかかったお友だちは、「体調は大丈夫かな？」「自分のせいで延期になったと思って落ち込んでいないかな？」「早く元気になって欲しいな。」そんなふうに相手を思われる自分であること。

2つ目は、気持ちをできるだけ早く切り替えることです。起こってしまったことは仕方ありません。悔やんでも結果は変わりません。また、火曜日の運動会だと、おうちの人もお仕事で見に来られないかもしれません。あなたも残念かもしれませんが、おうちの人も同じように残念な思いをしておられることでしょうか。しかし、あなたが残念な気持ちのまま、運動会で発表するのをおうちの人は決して望んでおられないでしょう。「延期になったけど、頑張るぞ！」というふうに前向きに気持ちを切り替えることです。

今、私が言った2つの大切なこと。1つ目の「決してだれかのせいにしないこと」、2つ目の「前向きな気持ちに切り替えること」がきっとできる阿賀っこのみなさんですから、ごほうびにこれから絵本の読み聞かせをします。聞いてください。

「ぼくとがっこう」谷川俊太郎 文・はたこうしろう 絵の読み聞かせをしました。この中の「がっこうがたのしいひがある（運動会の絵）」のページを再度開いて、「来週の火曜日はぜひそういう日にしましょう。」と締めくくりました。

運動会延期の日も 気持ちを切り替えてがんばれる阿賀っ子です！

